

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			活動や自由時間、安全に過ごすことが出来ているか常に見守りを行っている、ガラス窓が多いので子どもの行動に注意が必要。洗面台の使用やおやつ片付けは順番に並んで行うようにし、けが防止のため体の接触がないようにしている。学習と遊びのスペースを視覚的に理解しやすいようにラインを引き、区別している。安全のため、玄関ドア周辺、シンク周辺は必要以外の時は立ち入り禁止スペースとしている。(テープを貼って視覚化)
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1		学習では出来るだけ個別出来るよう工夫している。対応困難な時間もあるが、できる限り丁寧に対応し宿題を終了して帰宅できるよう心がけながら支援にあっている。迎えの時間が集中し学校への電話連絡が必要な場合がある。時間変更をしていただく学校が続かないよう気を付けながら連絡している。限られた人数の出動スタッフの中で効率よく安全に送迎できるよう気を付けている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	4	1	事業所が2階であるため、手すりの適宜利用を促し、安全に昇降出来るよう見守っている。階段の手すりが遊びに使うことのないよう、季節の掲示物で装飾している。階段下には急な飛び出しをしないよう停止線を引いている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			毎日細かく情報共有を行っている。前日の振り返りと当日の利用児童に対する課題や支援方法を話し合い、より良い支援方法を考え、共通の声かけ、支援を行っている。送迎時の保護者との会話の内容の情報共有も行い、会話がスムーズに行われるようにしている。内容は毎日全て記録し、全スタッフにいつでも情報共有出来るようにしている。記録は関係者会議や個別支援計画作成時にも
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			保護者アンケートを実施し、保護者の意見を全員で確認し、改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			ホームページで公開している。保護者アンケートもハグシステム内で出来たら便利だという声もあった。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			7	第三者による評価は実施していない。契約時に保護者に確認している。
適切 な 支 援 の 提 供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			定期的に全事業所のスタッフと研修を行っている。事業所ごとにテーマを提案し全員で検討している。様々なテーマをもとに交流を図りながらスキルアップを図ることが出来る。それぞれの事業所のよさが盛り込まれている。他事業所のスタッフとの交流もできる。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			モニタリング会議などで、直接お話を聞く機会を設け、本人と保護者の思いを組み入れた適切な計画となるよう心掛けている。6か月ごとに計画を見直し、目標が達成しているかどうかの判断を行い、成長に合わせ、随時目標の変更を行うようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			対象児童の特性や思いを把握するために年に2～3回アセスメントを実施し、本人や保護者の希望を聞きながら成長に合わせて個別支援計画の見直しを行っている。強みを活かし将来の自立や幸せに繋がるようにしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			5領域に当てはまる活動内容を考え実施している。どの分野の活動も、全ての子どもが達成感を得ることが出来、発達状況に応じた内容、材料、手順であるか全員で確認しながら計画している。また、はさみなどの道具の取扱いについても確認をしている。個人差があるので必要に応じて個別にスタッフが支援するようにしている。(打ち合わせの段階で誰がどの対象児童にどんな支援が必要かの確認をしている。)
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			職員で話し合い、広い分野の活動内容になるようにしている。利用児童の興味関心のあること、将来必要なことを取り入れるようにしている。SSTやビジョントレーニング、作業療法を取り入れた活動も行っている。活動に対して興味関心を持つよう、予定表の名前の表示を工夫している。予定表作成時には過去の活動内容と照らし合わせ曜日が固定化しないように工夫し全利用児が参加学休日は外出活動(公園・施設の利用)や、時間をかけてじっくり取り組むことが出来る工作や調理活動を実施している。公共施設では利用のマナーや人との関わりを学んでいる。買い物活動ではお店の方とのやり取りやお金の使い方を学んでいる。外出ではスタッフの人数と利用児の特性を考慮し、距離や場所を慎重に選んでいる。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7				
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			学習支援が必要な児童が多いので出来る限り個別に宿題を一緒に取り組んでいる。集団活動では、必要に応じて個に合った方法に適宜変更しながら無理なく活動できるよう柔軟に対応している。出来ることが自分の力で取り組むよう、見守りと支援のタイミングを工夫している。	

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			朝の打ちあわせで、活動内容や流れ、送迎の確認を行っている。活動で個別に支援が必要な子どもは事前に担当スタッフを決めておきスムーズに活動できるよう工夫している。声かけのタイミングや言葉についても確認し、共通の支援によって方向性が明確になり、安心して過ごすことが出来るよう配慮している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			毎日活動の様子を個別に記録している。支援終了後はその日の様子を振り返り、気が付いた点の情報交換、支援の見直し等を行い次の利用に役立てている。送迎時に保護者様にお伝えしたこと、またご家族の思いについても共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			朝の打ちあわせで個別支援ポイントを記録してスタッフ全員が把握できるようにし、共通の方法で支援にあたっている。支援終了後は振り返りを行い、気になる行動などを記録し、対処法を考え次回につなげている。ご家族や学校での支援方法も参考にさせていただいている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			毎日の活動記録やスタッフ間の話し合い内容をもとに課題や支援方法を確認し、保護者や関係機関確認の上、計画を作成している。成長に応じたご家族の思い、本人の希望を聞き、計画に取り入れるようにしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	7			ガイドラインに沿い、5領域に当てはまる活動内容を計画し実施している。
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	7			スタッフ全員で支援の状況を話し合ったことをもとに、児童発達支援管理責任者が会議に参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			学校より下校時刻の予定表をいただいたり、他の学校と下校時刻が重なってしまう場合は事前に電話で時間の調整をお願いしている。時間調整の学校が続かないように配慮している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	1		緊急時、すぐに対応できるよう、主治医、連絡先などが書かれたマニュアルを作成し掲示している。服薬が必要な場合は証明書を記入していただいている。アレルギーについては細かく保護者と確認を取り合っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			利用前に保護者や保育所より情報提供をさせていただいている。必要に応じて連絡を取り合い、課題や目標を明確にし、スムーズに移行できるようにしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			相談支援員を通して就労に向けての相談機関の紹介をさせていただいている。また、同グループの中・高生向けの放課後等デイサービスや通信制高校の紹介を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			関係機関、病院での検査結果等は保護者様より提供して頂き、スタッフ全員で共有し支援に活用している。必要に応じて保護者の了承を得た上で、事前に受診機関に事業所での様子を報告し、相談がスムーズに行えるようにすることも。また、相談と同行し一緒に話を聞きこともある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			7	交流イベントを開催することはないが、外出活動で公園に出掛けたり、公共施設で偶然関わる場面があり、あいさつをかわし、同じ場所で仲良く過ごす事が
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7			定期的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			システム内の連絡帳やお電話、送迎時を利用して、家庭での様子をお聞きしたり、ベリーでの活動の様子や課題、良かったことなどをお伝えしている。心配事は事前にお知らせいただくことで必要な声かけが出来、安定した利用時間につなげることが出来ている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	2		モニタリングや送迎などで、家庭や学校での様子を聞き、ご家族の思いを受け止めながら必要に応じて助言を行っている。心配な行動の場面での学校や事業所での声かけや対処法をお伝えし、参考にさせていただいている。また、保護者会でも各家庭での子育ての工夫を話し合い、参考にさせていただいている。専門家を招いてのペアレントトレーニングの機会があれば良いと思う。
保 護 者	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	2		契約時に説明を行い、質問があれば随時対応している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			悩み事については可能な限りすぐに対応するようにしている。スタッフ全員で話し合い、出来るだけ早く保護者様の安心感が得られるように対応している。モニタリング会議でも課題の解決に向けて、各機関からの意見を出し合っている。保護者会で保護者様同士、意見を交わし合う機会を設けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7			今年度は親子イベントとして「森林セラピー体験」を実施。自然の中を歩きながらご家族で有意義な時間を過ごすことが出来た。(イベントを考える際、料金設定が難しい。)保護者会では各家庭でお子様自慢をしていただいたり、ビデオを観ながら1年間を振り返ったりしながら、成長を喜び合った。事業所を利用することで出来ることが増えたという嬉しい感想もいただくことが出来た。

への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		保護者からのご意見は本部、スタッフ全員で共有し、安心して利用できるように丁寧に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		毎月、活動内容が記載された予定表をシステム内で公開している。持ち物の確認や急な予定の変更、お知らせは随時、システムを利用してお伝えしている。月に1度、個別に活動の様子の写真を送っている。家とは違った表情をみる事が出来るという感想をいただいている。
	35	個人情報に十分注意しているか	7		ブログ、インスタ、掲示物の写真掲載方法について事前に確認をした上で掲載している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		相手にとって伝達しやすい方法を考え、意思疎通を図るようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	6
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7		保護者様には契約の際、説明を行っている。てんかん発作の際の対応マニュアルを作成し、連絡先や対応方法を明確にしている。家庭での投薬の有無や量の確認をモニタリング時に行っている。服薬が必要な場合は証明書を提出していただいている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		2階からのはしごを使った避難方法を消防の方より指導を受けている。年に2回、地震、火災に備えた避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		虐待防止研修を行っている。スタッフ全員で連携を取り相談しながら対応するようにしている。危険な行動があった場合は利用児の安全を第一に考え、行動を抑制する対応をすることを保護者に伝え、支援計画にも記載している。また、スタッフ全員で連携を取り合い、安全に過ごすことが出来るようにしている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6		危険な行動を起こしてしまう可能性のある子どもについては利用児と周囲の人の安全を第一に考え、行動を抑制する対応をすることを保護者に伝え、了承を得た上で支援計画にも記載し対応している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7		契約時に確認。アレルギーが心配される食物については保護者様に確認を取ってから提供している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		振り返り記録を残し、共有することで今後事故やけがを防ぐことが出来るようにしている。